

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「主体的・対話的でふかい学び」を通じて、持続可能な社会の実現に向けて「今を問い、未来をともに拓く力」を育てる。	①生徒が学ぶ楽しさを実感し、歴史に学び、未来をひらくための教科書づくり。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①XチャートやWチャート、くらげチャートなどまとめ方をたくさん紹介しており、知識を定着させやすい「スキルアップ」で手法を学べる・ ②単元の課題・節の課題・時間毎の課題を明示し、考えて表現する機会が多く設定されている。 ③持続可能な開発目標や領土問題など、今日の日本で起きている問題を取り上げており、より良い社会を築く態度と意識が身につけられる。	①本時ページの各見開きでは、学習のめあてとなる「学習課題」とそれに対応して学習を振り返る「理解・表現」を設け、生徒が話し合いなどの対話的・協働的な学習を取り組み、深く理解できるようになっている。 ②「表現」、「Q」、「読み解こう」のコーナーが適宜用意しており、資料を読み取って考察する学習機会が多くある。 ③各時代の人物を取り上げ、社会の変化と人々の生活・職業との関わりなど個人の生き方について考察し、人間性の涵養をすることができる。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①1つの単元のなかに、探究課題を立てる導入と、課題を追求する内容、解決するまとめの活動が組まれている。 ②教師側の視点からカリキュラム・マネジメントを計画しやすいよう工夫がなされている。 ③思考し判断し表現するための問いがたくさん用意されている。 ④日本の国宝や重要文化財を多数紹介し、伝統や文化を尊重する態度を育成することができる。 ⑤たくさんの資料があり、文化や伝統に触れやすくなっている。 ⑥年表で小学校の学習を振り返ることでスムーズに時代の学習に入ることができる配慮がなされている。 ⑦近代以降のメディア発達の影響や社会の内容を扱い、現代的な諸課題の解決に情報や技術が果たす役割を考えさせることができる。 ⑧Dマークコンテンツを使って、つまずきやすいポイントでデジタルコンテンツが豊富にあり、配慮されている。 ⑨概ね良好である。	①授業の導入場面では、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版などの資料をわかりやすく掲示することで、円滑に授業を進められるような工夫がされている。 ②全体として分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっている。他分野や教科との横断的・連携的カリキュラムが立案しやすい構成となっている。 ③地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、見開きごとにふりがなをつけるとともに、主要な文字には教育的配慮がされている。 ④自己と歴史との関係について考えを深められる資料ページにより、生徒が自分たちと歴史のつながりを意識できるようにしている。 ⑤日本に受け継がれている祭や芸能、人権の獲得に尽くした人々、地域社会に参画する人々の事例などに触れている。 ⑥小学6年生の時に登場したキャラクターが成長した姿で、登場しており共に学ぼうとする意識が連続するように工夫されている。 ⑦情報化の進展に伴う社会の変化、情報の有効な活用について理解が深まるように配慮されている。 ⑧学習内容を詳しく丁寧に記述しており、基本的な事項を習得しやすいように配慮されている。 ⑨概ね良好である。
	(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①UDフォントが用いられ、目に優しい色彩ある。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①平易な表現で、できごとの関連性をとらえやすく、「読んでわかる」文章になっている。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①1時間の学習の見通しをもたせる学習課題が設定され、「見方・考え方コーナー」があり考えやすい工夫がされている。 ①資料の掲載部分が大きくなっているため見やすく、考えやすい。	①「歴史の技」、「読み解こう」、「Q」、「表現」、「学習のまとめと表現」などのコーナーがあり、問いへの考察に際して見方・考え方を活用できるように工夫されている。 ①「歴史にアプローチ」では視点や方法を意識的に働かせながら学習を進めていくための学習コーナーがある。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②キャラクターの会話を通して、探究課題を解決しやすい工夫がされている。 ②思考を整理しやすい多様なツールが紹介されている。	②コラム「歴史の窓」や特設ページが充実しており、本文とは異なる視点から歴史を捉え直すことができる。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元ごとに問いが用意されており、考えて表現する機会が多く設定されている。 ③1つの単元のなかに、探究課題を立てる導入と、課題を追求する内容、解決するまとめの活動が組まれている。	③各章末に図や語句を用いて整理する活動、考えを表現する活動、章全体を貫く「問い」に応答する活動を通して、課題を追究したり、解決したりすることができるように工夫されている。

	発行者の略号	帝国	山川
	書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「歴史をつくってきた人々の姿」から未来を考えていけるような教科書づくり。	①新課程における歴史教育に向け、高校生向けに培ってきた歴史教育の深い学びのためのクオリティを中学教科書に生かしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①見開き1時間分の内容が、「導入」→学習を見通せる「学習課題」→振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化されており、基礎的な知識の習得がしやすい。 ②「説明しよう」のコーナーが設定されており、これを繰り返しやることで、思考力・表現力・判断力が身につくように配慮されている。 ③未来の社会をつくるために参考となる先人達の取り組みを、環境・交流・人権・平和の4つの視点から紹介している。	①各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返りという流れでどういつされており、知識技能を身につけやすくなっている。 ②「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページを始め、課題や発問が工夫されている。生徒一人ひとりが課題に追求し、探求できるものとなっている。 ③大きな紙面（AB判）を利用して図版を大きく、みやすくし、発問によって、どこに注目すべきかを示唆している。「身近な地域を調べよう」のコーナーがあり、生徒が自身の地域に対して主体的に取り組むように促す内容になっている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①章・節・見開きという三部構成をとっており、それぞれ問いと振り返りを設け、見通しを持って学習できるようにしている。 ②本文ページ下段に、「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、他分野との関連が図りやすくなっている。 ③たくさんのコーナーがあり、毎時間言語活動を繰り返し行えるような工夫がなされている。 ④文化史のページは、資料が大きく掲載され、説明も丁寧になされており、理解を深められるような配慮がなされている。 ⑤「タイムトラベル」のページで、歴史の疑似体験をすることができる。 ⑥年表で小学校の学習を振り返ることでスムーズに時代の学習に入ることができ配慮。 ⑦情報通信技術の発展や人工知能（AI）の発達が社会に与える影響や今後の課題を考えられるように記述されている。 ⑧具体例や補足する図解などがあり、基礎的・基本的な学習が定着しやすくなっている。 ⑨学習内容ごとに学習課題があり、最後に確認があり、定着しやすい。	①資料を多く掲載されている。そのため、歴史における資料の重要性を学ぶことができる。また、資料には発問を付し、主体的に取り組める工夫が見られる。 ②日本の領土などの北方領土については地理的分野と関連し、主権者教育では、公民的分野とも関連し配慮されている。 ③本文に出てくる難しい用語には同じページに「用語解説」や注をつけ、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ④各時代の文化に関する記述も豊富で、特色を考察しやすくなっている。 ⑤体験学習の充実について「身近な地域を調べよう」「地域からのアプローチ」に掲載。 ⑥全体を通し、小学校で学んだ人物・歴史の知識を踏まえ、学べるような記述になっている。また、色彩を分けることで高校の「歴史総合」につながる部分であることを意識させている。 ⑦ICTを活用して調査発表の仕方を「身近な地域を調べよう」に掲載。 ⑧本文が詳細に記述されているので、読むだけでも分かるような構成になっている。また、資料には番号がつけられ解説がわかりやすく掲載。 ⑨各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返り、という流れで統一されている。
	(I) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①適切であるように感じる。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「タイムトラベル」の中で「前の時代と比べてみよう」というコーナーが設けられており、歴史的な見方・考え方を働かせながら時代の特色を考えることができる。 ①多面的・多角的に日本の歴史を捉える視点として、中央の歴史だけでなく地域史を重視している。	①歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかを学び、時期・推移・因果関係・差異から考えることで、歴史的思考を養う工夫をしている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「多面的・多角的にかんがえてみよう」が3テーマ設けられていて、育成できるように工夫されている。 ②一つの歴史的な事象について、さまざまな立場の人々の見方を示す資料を多く掲載している。	②歴史が変化する過程でおこる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響を及ぼしたのか考えることができる工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、自然と課題解決学習できる構成になっている。 ③見通し・振り返り学習がしやすい構造になっており、「章の問い」に対してステップ1からステップ3までの段階的な施行の道筋をつけて考えられるように工夫してある。	③章のまとめのページでは、時代全体を俯瞰して考えさせるための問いを用い、歴史的転換点が、変化していくことをもう一度考えることができる。現代に課題について考える「地域からのアプローチ」「今日の世界」「現代に日本と世界」に掲載。

	発行者の略号	日文	育鵬社
	書名	中学社会 歴史的分野	【最新】新しい日本の歴史
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、国家・社会の形成者として必要な資質・能力の育成を図っている。	①国民としての自覚を持って国際社会で主体的に生きる力を育てることを基本方針としている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①授業1時間＝見開き2ページ構成になっており、見開きで何を学習するのかが、学習課題で明確になっているため、問題解決学習がやりやすく、習得した知識を言語化しやすくなっている。 ②学習課題の理解を深めるため、歴史的な見方・考え方を働かせる問を「深めようコーナー」として設け、習得した知識を定着させ活用させることで、思考力・判断力・表現力の向上を図ることができる。 ③先人の姿を詳しく説明し、よりよい社会の実現を視野に課題を解決していこうとする態度を養うことができている。	①歴史の大きな流れを理解することができる紙面構成で、歴史的分野における学習の基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を図っている。 ②見開きのページに学習した内容の設問があり、レポートや論述形式でまとめ、発表したりする項目があり、言語活動に取り組めるようになっている。 ③生徒一人ひとりの「生きる力」を養うために、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材を配置し、社会的事象を「自分事」としてとらえ、主体的に判断し、行動できるような工夫をしている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史の面白さを体験できる「チャレンジ歴史」というコーナーが設定されている。 ②他教科との横断的な視点で教育課程を組み立てることができるよう、教科書全体を通して関連のある教材を多数掲載している。 ③各時代を表現する活動が「学習の整理と活用」「アクティビティ」に掲載されている。 ④文化について代表的な事例を豊富に大きく取り上げており、その特色を広い視野から考えられるように配慮されている。 ⑤単元末の学習の整理と活用では、学習を振り返るとともに各時代の特色を捉えることができるアクティビティが設定されている。 ⑥小学校で学んだ人物・文化を再確認できるように構成されている。 ⑦「基本用語コーナー」では、歴史を理解する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようになっている。 ⑧資料には番号がつけられ解説がわかりやすく掲載されている。 ⑨時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されており、興味関心をもてるように配慮されている。	①各章末の「学習のまとめ」では、ほかの時代との共通点や相違点に着目しながら、言葉や図で表すことで、時代の特色に関して深い学びを得られるような構成になっている。 ②道徳の内容項目「我が国の伝統文化の尊重」と関連している。 ③巻末には日本の歴史を400文字の文章で表現する課題をおき、歴史を自分の言葉で表現する力を養えるように配慮している。 ④人々の生活、その生活と密接に関係している経済、文化・技術についても積極的に取り上げて、生徒が多面的・多角的に歴史をとらえることができるよう配慮している。 ⑤「歴史新聞をつくろう」では、作業的・体験的学習により歴史への理解を深めることができるようになっている。 ⑥小学校で学んだ人物の紹介している。 ⑦「調査の仕方」調査のまとめ方を地域の歴史を調べてみよう」に掲載されている。 ⑧文字は読みやすい大きさとし、教育外漢字や固有名詞等、適宜ふりがなを振り、地図等も配置している。 ⑨単元構成が3部構成になっていて、学習しやすくなっている。
	(I) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③図版・イラスト等の色彩や形、紙面のデザインにも十分な工夫と配慮が見られる。
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①本文ページに「見方・考え方」のコーナーが設けられており、学習課題の解決に向けて手がかりとなる歴史的な考え方・見方の例が示されている。	①キャラクターによる発問は、生徒たちが個々の事象に対して、歴史的な見方や考え方を働かせるための視点を提供している。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②グループでの話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができる。	②「史料の読み方」「歴史ズームイン」「歴史ビュー」「歴史・ワクワク調査隊」など、多様な資料と誌面構成で、生徒が歴史事象を多面的・多角的に考察する力を養っている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③図版は、本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。	③「つかむ→調べる→まとめる→表現する」問題解決型学習の教材配列で、知識・思考・判断・表現の一体化を図っている。